

スローテンポ通信

第 33 号

2020年4月15日

発行:スローテンポ書店

〒323-0023 小山市中央町3-7-1 ロブレ地階

☎ 0285-32-7211

Eメール usagimokamemo@gmail.com

ブログ『うさぎもかめも』

<http://usagimokamemo.blog.fc2.com/>

コロナショックの今だから 注目すべき本

○『目の眩んだ者たちの国家』

キム・エラン他 12名共著 矢島暁子訳
新泉社 2018年 1900円+税
☆☆☆☆

新型コロナウイルス感染拡大に対して、韓国はいち早く検査や医療の体制を整え、国民を危機から救った。その対応が世界から絶賛されている。

どこが日本と違うのか。2014年のセウォル号沈没事件の教訓を指摘する人が多い。韓国の言論は、事件についても政治についても人間の心の奥まで鋭く見つめる。それがわかる一冊。韓国の気鋭の作家たちが、沈没事件を自分の言葉で語り論じた。

○『健康の輪

病気知らずのフンザの食と農』

G.T.レンチ著、山田勝巳訳、
島田彰夫解説

農文協 2005年 1,714円+税
☆☆☆☆

新型コロナウイルスに感染すると、少数が重症化するが、多数は軽症で回復する。それを分けるのは何か？免疫力の違いが指摘されている。

原著は1938年の出版だが、今読めばさらにその価値がわかる。

英国人医師の著者は、病気をみるが、健康を見ない医学に不満を抱き、フンザに渡って健康を研究した。フンザとはパキスタン北部にある人口5万人ほどの小国であり、コーカサス、ビルカバンバと並んで健康長寿で知られる。

* * * *

キレル気持ちがよくわかる

新型コロナウイルスの感染拡大で、学校が休校になり、外出自粛が要請されている。大人も子どもも、ストレスがたまって、家庭内暴力やドメスティックバイオレンスが増えているようだ。

我慢して耐えられなくなったら爆発する。それをキレルという。爆発が暴力に現れるのもキレル形の一種だ。キレル子どもやキレル大人が増えているのは、不満ばかりがつのり、生きづらいと感じる人が多いことの表れであろう。

なぜ、人はキレルのか？

何事もうまく行かず、とことん追い詰められ、自分の追い詰められた気持ちにうまく対処できないときに人はキレル。

いやなことを強要される。やろうとしていることを邪魔される。一度や二度なら我慢できるが、何度もくり返されるからキレル。「もういやだ！」というわけだ。

人がキレルには、様々な要因がある。キレルときは、キレルを生む要因が積み重なったり、キレないように抵抗する要因がうまく作用せず、それら様々な要因が複雑に絡み合っキレル。

キレを生む要因についても、キレを防ぐ要因についても、それぞれについて本人要因と、キレサセル側の要因(周辺要因)とがある(表)。

経済優先社会は、本人要因ばかりを問題視し、周辺要因を見ない。特に周辺要因のキレを生む要因については、意図的に隠される。

いやなことを強要されても、いやだと言って断れるなら、キレルことはない。キレルのは無理やり押し付けられたり追い詰められたりして、断れないときに起きる。知らず知ら

表. キレル要因の分類とその例

	本人要因	周辺要因
キレを生む要因	我慢しない教育など	儲け主義、営利主義、ごまかしや詐欺の蔓延
キレを防ぐ要因	社会性、感情コントロール力など	意思疎通がスムーズな心地よい社会など

ずに他人に迷惑をかけ不本意にキレサセルこともあるが、互いに理解し合えばキレルことはない。

一方、強引な押し付けも、全てが悪いとは言えない。しつけや教育などでは、ある程度の押し付けが求められる。優柔不断から一歩踏み出せないでいる人にも、強引なリードが良いこともある。意図や気持ちがきちんと伝わっていれば、キレルことはない。

どうやら、キレルのも、キレサセルのも、意思や気持ちが伝わっていないことに原因があるようだ。それは、コミュニケーションの障害で、原因はキレル方にも、キレサセル方にもある。

では、どうすればよいか。

普段から思ったこと感じたことを人に話そう。大人は子どもの話をよく聞こう。お店は客の話をよく聞こう。役所は住民の意見をよく聞こう。医者患者の話をよく聞こう。

話をよく聞けば、押し付けることなく、説明するようになる。双方が理解し合えば、キレルことはない。

親は、キレル子どもの気持ちを理解しよう。同時に、親の願いを子どもにわかるように伝えよう。

大人がキレル場合も、キレル、キレサセルの双方が、互いが理解しあわなければならない。

コミュニケーション障害の対処法は、決まっている。立場の対立を乗り越え、共通課題解決型にすることだ。ディベート型を課題解決型にするといってもよい。

その方法を知るには、スローテンポ書店の懇話会に参加することだ。

人はキレルことによって必死に訴えている。文句も言わずいつもニコニコしているが、突然心の病が発症し壊れていく子がいる。何も言わないより、キレルほうがよっぽど健康的だ。

複雑な人間どうしが、殺しあって滅びることなく現代まで生き長らえてきたのは、雑多な人間どうしが、うまくコミュニケーションをとり、助け合ってきたからに他ならない。

(ブログ『うさぎもかめも』より抜粋)

* * *



スローテンポ書店

新型コロナウイルスを考える、時代を見なおす、子どもと対話できる、食と生活、医療、介護、差別と偏見、女性の活躍、地域を元気にするなどの、ヒントになる本を扱っています。

小山駅前 **ロブレ**地階 営業: 火~土 13時~19時
(日月祝日お休み)

☆ 懇話会

自慢話型、傾聴型、ディベート型を卒業し、課題解決型を提唱しています。水曜日午後5時~7時、参加無料。

☆ 実用文教室

伝えたいことを、伝えたい人に、正確に伝える文章を目指します。木曜日午後3時~5時、参加費は資料代含めて、1回500円